

# 「日本の美」総合プロジェクト懇談会（第6回） ジャポニスム 2018 総合推進会議（第3回）

## 議 事 次 第

日時：平成 30 年 6 月 22 日（金）

18 時 10 分～18 時 50 分

場所：官邸 2 階小ホール

### 1 開 会

### 2 議 事

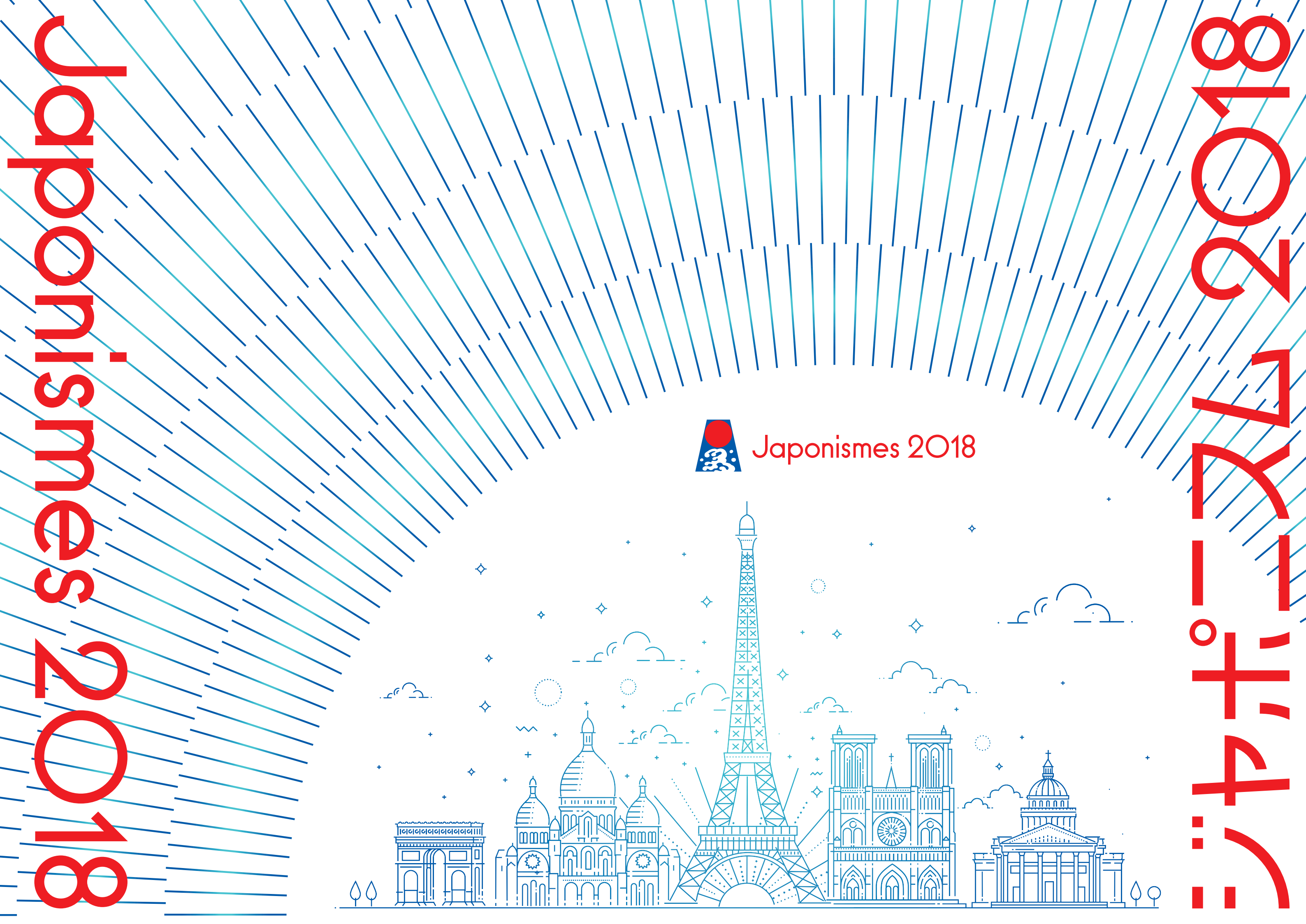
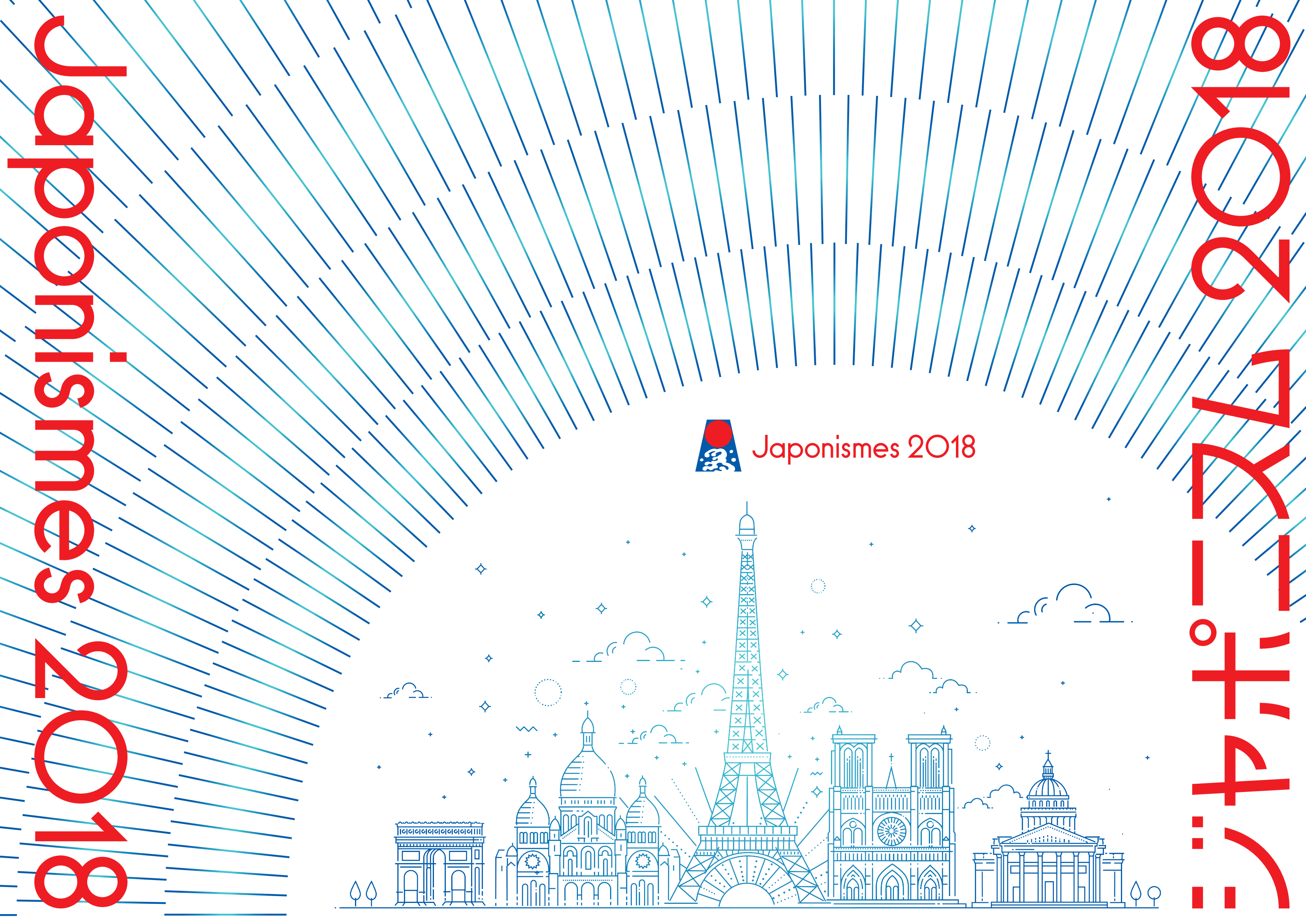
- （1）ジャポニスム 2018 について
- （2）ジャポニスム 2019（仮称）の企画案の検討状況について
- （3）意見交換

### 3 総理発言

### 4 閉 会

#### 《配布資料》

- 資料 1 「ジャポニスム 2018」パンフレット
- 資料 2 「ジャポニスム 2018」広報について

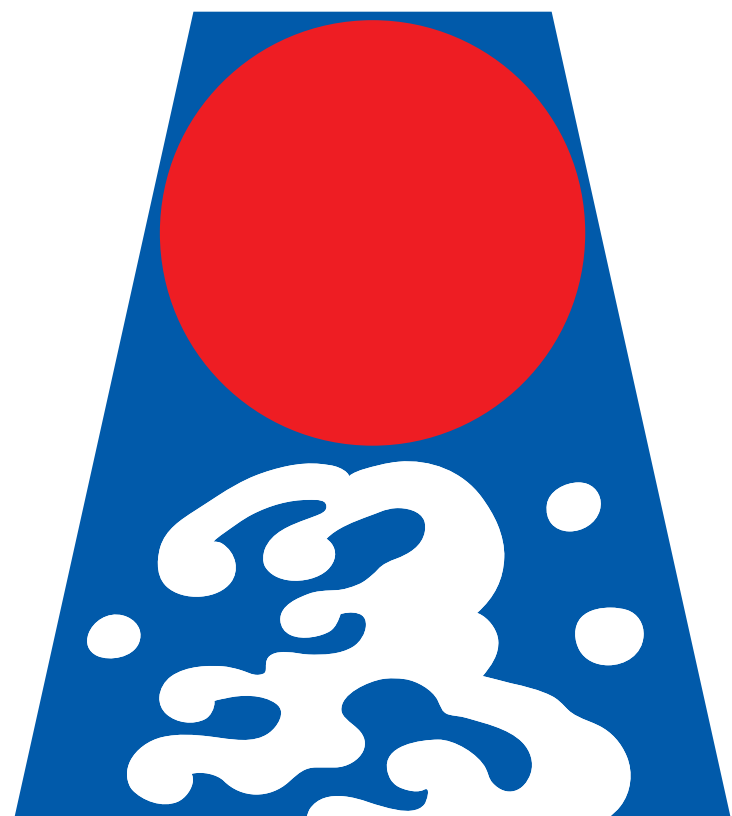


Japonismes 2018

Japonismes 2018

ジャポニスム2018

世界はふたたび、  
日本文化に驚く。



Japonismes 2018

## ジャポニスム 2018: 響きあう魂

ゴッホやモネの芸術にも多大な影響を与えた「ジャポニスム」。  
この現象は、19世紀のフランスで浮世絵に代表される日本文化が  
紹介されたことから一気に広まりました。  
日仏友好160年にあたる2018年、時を越えて、  
現代日本が創造するジャポニスムは、新たな驚きとともに  
世界をふたたび魅了することでしょう。

会期

2018年7月 —  
2019年2月

## 目次

メッセージ	4
安倍晋三 内閣総理大臣	4
エマニュエル・マクロン フランス共和国大統領	5
概要	6
公式企画・参加企画	7
現地マップ	8
公式企画一覧	10
展覧会	11
舞台公演	14
映像	20
生活文化 他	22
特別企画	25
日程表	26
オフィシャルパートナー、オフィシャルサポーターなど	28

# メッセージ



内閣広報室提供

内閣総理大臣

安倍 晋三

未だかつてない日本文化の祭典「ジャポニスム2018：響きあう魂」が、日仏友好160年を記念し、7月からフランスで開催されることに大きな胸の高鳴りを感じています。日本が誇る文化を、芸術の都パリを中心に、大規模かつ総合的に、8か月にわたりフランス全土で紹介します。これは、日本政府として類を見ない規模で文化を発信する一大事業であり、日本外交に新たに「文化」の柱を立てるフラッグシップ・プロジェクトです。

フランスには世界に冠たる文化・芸術があります。日本人は、モネ、ロダン、ユーゴーなどに魅了されてきました。同時に、日本にも長きにわたって継承されてきた豊かな文化・芸術があります。それをフランスの皆様にもっと知って頂きたい。その思いから、「ジャポニスム2018」を通じて、縄文の考古の美から現代日本の最新技術を駆使したアートまで、多様な日本文化の花をフランス全土で一気に開花させます。

7月のオープニングでは、日本の美意識を理解する上で、新しい視点をもたらす『深みへ-日本の美意識を求めて-』展を開催します。「ジャポニスム2018」の提唱者である津川雅彦氏の発案で、縄文土器から現代アートまで併せて展示し、斬新な切り口で日本の美意識を徹底的に解明していきます。秋には近年日本でも一大ブームを巻き起こしている伊藤若冲の欧州初の大規模な展示となる『若冲ー（動植綵絵）を中心に』展や、歌舞伎次世代を担う看板役者の中村獅童・中村七之助によるバリ初お目見得となる『松竹大歌舞伎』公演が開催されます。『松竹大歌舞伎』では、恋仲にある男女の悲しい因果を描いた様式美あふれる名作「かさね」と、歌舞伎十八番の中でも荒事の代表作「鳴神」という、歌舞伎の魅力をたっぷり堪能できる2演目が揃っています。さらには、日本各地のお祭りや、お酒やお茶も含めた食文化他、日本の文化や和食に比較的刺激が深いフランスでもなお新たな驚きをもって鑑賞し、楽しみながら参加していただけるイベントも盛りだくさんです。

19世紀には、フランスに紹介された日本文化が「ジャポニスム」として、フランスの芸術家たちの創造力を掻き立てました。ゴッホやモネが北斎から刺激を受け、ドビュッシーが「海」を作曲したように、日本とフランスにはお互いに響き合う魂があるのです。

今年は、フランスで日本文化が百花繚乱する姿を見ようと、日本からフランスを訪問する日本人が沢山いるでしょう。そして、「ジャポニスム2018」に触発され、本場の日本に出かけてみようと思いつフランス人もおられるのではないかと思います。「ジャポニスム2018」を通じ、21世紀においても、日仏の間で魂の響き合いが沸き起こり、新たな文化の創造や幅広い国民交流に向けた刺激となることを願っています。

最後に、「ジャポニスム2018」実施のために尽力して頂いた日仏両国の全ての関係者の皆様に感謝申し上げるとともに、文化を通じた日仏の協力が、日仏関係のみならず、日本と欧州の未来に向けたパートナーシップを一層豊かなものとし、日仏の感性の共鳴が、世界へと広がっていくことを心から祈念いたします。



Soazig de la Moissonnière /  
Présidence de la République

フランス共和国大統領

エマニュエル・マクロン

日本の外で未だかつて開催されたことのない最大規模の日本文化事業である「ジャポニスム2018」を開催することは、フランスにとって大変喜ばしく、極めて光栄なことです。これは日仏両国の長い友好関係、両国民が互いに抱き合っている憧れ、そして両国の対話を今日の課題の水準にまで高めたいとの我々の野心を反映した大きな事業です。

2018年は、極めて象徴的な年です。今年は、近代化の道に乗り出そうとした日本が、西欧に対して自らを開いた明治時代の開始から150周年です。また日仏外交関係樹立160周年でもあります。さらに、20世紀の偉大な駐日フランス大使であり、日仏両国民が互いに賞賛し合うようになることに大きく貢献したポール・クローデルの生誕150周年を祝います。

日本と西欧が出会う契機となり、また19世紀を特徴づけた、日本のあらゆるものに対する熱狂である「ジャポニスム」の動きに寄与したたくさんの出来事があったのと同じように、1世紀半の時を経て日本が再訪することを決めたこの「ジャポニスム」をめぐって、今日の日仏二国間関係を祝うたくさんの理由があります。

日本は世界に輝く芸術・文化を有しています。日本文化はフランスの最も著名な前衛芸術家たちに多大なる影響を与えましたが、我々の社会が大きく変化した今日においても、日本の創造的な芸術家たちは新たな世代の熱狂を喚起しています。常に新しいものを追求するフランスの大衆と芸術家は、現代日本を発想と革新の持続的な源泉と見えています。

「ジャポニスム2018」の企画は、こうした日仏間の相互交流の成果でもあります。歌舞伎から藤田嗣治の絵画まで、また三番叟や安藤忠雄の建築を含め、あらゆる日本の創造性の豊かさが、フランスで最も権威ある文化施設で紹介されるでしょう。フランスは「ジャポニスム2018」という冒険と一緒に取り組み、この事業の成功を保証するために自らのノウハウの卓越性を分かち合いたいと考えました。日本のアート・シーンの豊かさと多様性をフランスの観客と分かち合うために、「ジャポニスム2018」の事業を受け入れてくれたパリ及び地方のすべての文化施設に対し感謝の意を表します。

この協力は、日仏二国間関係の力強さとダイナミズムの証であり、我々の努力が「ジャポニスム2018」の枠を超える大きな成果をもたらし、少なくとも今後新たな160年間に亘って友好関係が更に発展することを切に願います。



## 開催概要

「ジャポニスム 2018：響きあう魂」では、  
パリ内外の100近くの会場で、展覧会や舞台公演に加えて、  
さまざまな文化芸術を約8ヶ月間にわたって紹介していきます。

古くは日本文化の原点とも言うべき縄文から伊藤若冲、琳派、そして最新のメディア・アート、アニメ、マンガまで、さらには歌舞伎から現代演劇や初音ミクまで、日本文化の多様性に富んだ魅力を紹介します。同時に、食や祭りなど日本人の日常生活に根ざした文化をテーマにした交流イベントも開催します。

また、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を前に、日本各地の魅力をパリに向け、またパリを通して世界に向けて発信します。さらに日本国内における広報活動を通じて、日本文化を再発見できる機会もつくっていきます。

## 背景

「ジャポニスム 2018：響きあう魂」は、2016年5月に安倍総理大臣とフランスのオランド大統領（当時）の合意により、日本文化の素晴らしさを世界へ発信する取り組みとして、実施が決定しました。世界的に文化大国として知られ、また以前から日本文化の最もよく理解者でもあるフランスでの開催に向け、日仏両国が共同で取り組んでいます。

## コンセプト

タイトルである「ジャポニスム 2018：響きあう魂」には、二つの意味が込められています。一つは、過去から現代までさまざまな日本文化の根底に存在する、自然を敬い、異なる価値観の調和を尊ぶ「美意識」です。日本人は、常に外部から異文化を取り入れ、自らの文化と響きあわせ融合させることで、新しい文化を創造してきました。多様な価値が調和し、共存するところにこそ、善悪を超えた「美」があるとする日本文化ならではの「美意識」を世界に紹介します。

二つ目は、日本とフランスの感性の共鳴です。文化芸術を通して日本とフランスが感性を共鳴させ、協働すること、さらには共鳴の輪を世界中に広げていくことで、21世紀の国際社会が直面しているさまざまな課題が解決に向かうことを期待します。

### ロゴマークについて



Japonismes 2018

「ジャポニスム2018」のロゴマークは、日本の文化が堂々と海を渡って外へ出ていく、その旗印となるようにデザインしています。

富士山、太陽、波は、古くから日本の文様などによく描かれるモチーフです。これらの要素を、シャープで現代的な造形と、海の深い青・太陽の赤・波の白の鮮やかなコントラストの色彩で表現しました。

■制作者：グラフィックデザイナー  
服部一成（はっとり かずなり）

## 公式企画・参加企画

「ジャポニスム2018 公式企画」では、日本政府主導により展覧会、舞台公演、映画、その他日本人の日常生活に根ざした文化まで含め、さまざまな日本の芸術と文化を幅広く紹介します。会期を通じ、50を超える公式企画を実施します。

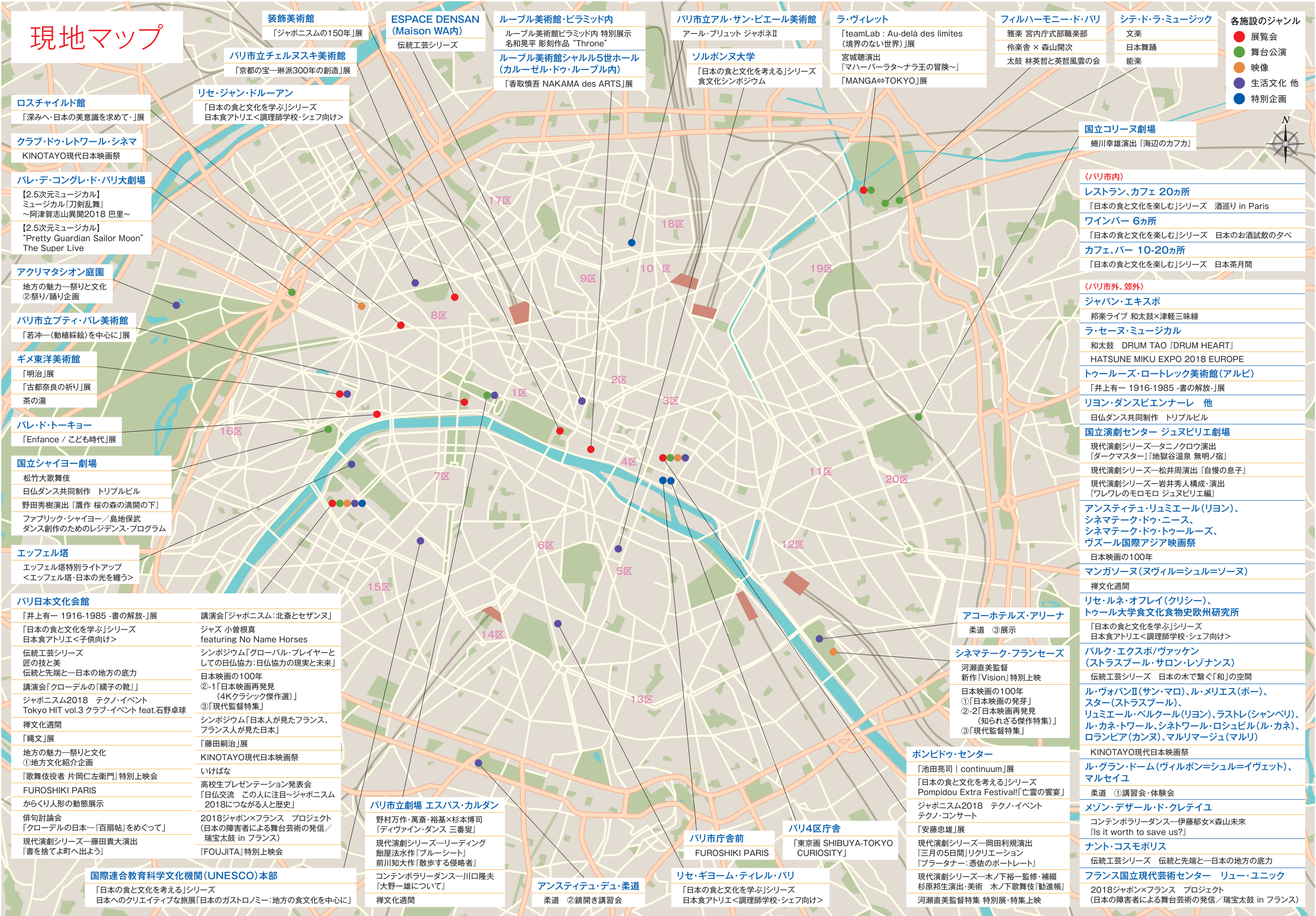
「ジャポニスム2018 参加企画」は、「ジャポニスム2018」の趣旨にご賛同いただける方々による日本関連の自主的な企画であり、これらを参加企画に認定することで、より多くの方々に「ジャポニスム2018」を盛り上げていただき、日本文化を発信していただくことを目指します。

## パリ日本文化会館情報センター



エッフェル塔の近くに建つパリ日本文化会館は、1997年に開館した世界最大の日本文化センターで、大小ホール、展示ホール、図書館、茶室、教室などを備えています。「ジャポニスム2018」開催中には、ここでも数多くの公式企画が開催されますが、さらに地上階にはジャポニスム2018情報センターが開設され、会館内だけでなく、すべての公式企画に関する日時、場所、内容などの情報をご提供します。また同センターのイベントスペースでは、さまざまな公式企画に関連する各種の展示やイベントなどが開催されますので、より深くそれぞれの企画を楽しんでいただけます。その他、日本の観光案内など、日本に関する各種の情報もご提供します。また、NHKの8K技術による日本の風景や文化の紹介映像も上映される予定です。





# 現地マップ

## 装飾美術館

「ジャポニスムの150年」展

## パリ市立テレルヌスキ美術館

「京都の宝一琳派300年の創造」展

## リセ・ジャン・ドルーアン

「日本の食と文化を学ぶ」シリーズ  
日本食アトリエ<調理師学校・シェフ向け>

## ESPACE DENSAN (Maison WA内)

伝統工芸シリーズ

## ルーブル美術館・ピラミッド内

ルーブル美術館ピラミッド内 特別展示  
名和晃平 彫刻作品“Throne”

## ルーブル美術館シャルル5世ホール (カルーゼル・ドゥ・ルーブル内)

「香取慎吾 NAKAMA des ARTS」展

## パリ市立アル・サン・ピエール美術館

アール・ブリュット ジャポネII

## ソルボンヌ大学

「日本の食と文化を考える」シリーズ  
食文化シンポジウム

## ラ・ヴィレット

「teamLab : Au-delà des limites (境界のない世界)」展

宮城聰演出  
「マハーバーラタ〜ナラ王の冒険〜」

「MANGA⇄TOKYO」展

## フィルハーモニー・ド・パリ

雅楽 宮内庁式部職楽部

伶楽舎 × 森山開次

太鼓 林英哲と英哲風雲の会

## シテ・ド・ラ・ミュージック

文楽

日本舞踊

能楽

## 各施設のジャンル

- 展示会
- 舞台公演
- 映像
- 生活文化 他
- 特別企画

## 国立コリヌ劇場

蜷川幸雄演出「海辺のカフカ」

## <パリ市内>

### レストラン、カフェ 20カ所

「日本の食と文化を楽しむ」シリーズ 酒巡り in Paris

### ワインバー 6カ所

「日本の食と文化を楽しむ」シリーズ 日本のお酒試飲のタベ

### カフェ、バー 10-20カ所

「日本の食と文化を楽しむ」シリーズ 日本茶月間

## <パリ市外、郊外>

### ジャパン・エキスポ

邦楽ライブ 和太鼓×津軽三味線

### ラ・セーン・ミュージカル

和太鼓 DRUM TAO「DRUM HEART」

HATSUNE MIKU EXPO 2018 EUROPE

### トゥールーズ・ロートレック美術館(アルビ)

「井上有一 1916-1985 -書の解放-」展

### リヨン・ダンスビエンナーレ 他

日仏ダンス共同制作 トリプルビル

### 国立演劇センター ジュヌビルエ劇場

現代演劇シリーズ-タニノクロウ演出

「ダークマスター」「地獄谷温泉 無明ノ宿」

現代演劇シリーズ-松井周演出「自慢の息子」

現代演劇シリーズ-岩井秀人構成・演出

「ワレワレのモロモロ ジュヌビルエ編」

### アンスティチュ・リュミエール(リヨン)、 シネマテーク・ドゥ・ニース、 シネマテーク・ドゥ・トゥールーズ、 ヴズール国際アジア映画祭

日本映画の100年

### マンガソーン(ヌヴィル=シュル=ソーン)

禅文化週間

### リセ・ルネ・オブレイ(クリシー)、 トゥール大学食文化食物史欧州研究所

「日本の食と文化を学ぶ」シリーズ

日本食アトリエ<調理師学校・シェフ向け>

### バルク・エキスポ/ヴァッケン (ストラスブール・サロン・レゾナンス)

伝統工芸シリーズ 日本の木で繋ぐ「和」の空間

### ル・ヴォバンII(サン・マロ)、ル・メリエス(ポー)、 スター(ストラスブール)、 リュミエール・ベルクール(リヨン)、ラストレ(シャンペリ)、 ル・カネ・トワール、シネトワール・ロシュビル(ル・カネ)、 ロランピア(カンヌ)、マルリマージュ(マルリ)

KINOTAYO現代日本映画祭

### ル・グラン・ドーム(ヴィルボン=シュル=イヴェット)、 マルセイユ

柔道 ①講習会・体験会

### メゾン・デザール・ド・クレティユ

コンテンポラリーダンス-伊藤郁女×森山未來

「Is it worth to save us?」

### ナント・コスモポリス

伝統工芸シリーズ 伝統と先端と日本の地方の底力

### フランス国立現代芸術センター リュー・ユニック

2018ジャパン×フランス プロジェクト  
(日本の障害者による舞台芸術の発信/瑞宝太鼓 in フランス)

## ロスチャイルド館

「深みへ-日本の美意識を求めて-」展

## クラブ・ドゥ・レトワール・シネマ

KINOTAYO現代日本映画祭

## バレ・デ・コングレ・ド・パリ大劇場

【2.5次元ミュージカル】  
ミュージカル『刀剣乱舞』  
〜阿津賀志山異聞2018 巴里〜

【2.5次元ミュージカル】  
“Pretty Guardian Sailor Moon”  
The Super Live

## アクリマタシオン庭園

地方の魅力ー祭りと文化  
②祭り/踊り企画

## パリ市立プティ・バレ美術館

「若冲ー(動植絵)を中心に」展

## ギメ東洋美術館

「明治」展

「古都奈良の祈り」展

茶の湯

## バレ・ド・トーキョー

「Enfance / こども時代」展

## 国立シャイヨー劇場

松竹大歌舞伎

日仏ダンス共同制作 トリプルビル

野田秀樹演出「廣作 桜の森の満開の下」

ファブリック・シャイヨー／島地保武

ダンス創作のためのレジデンス・プログラム

## エッフェル塔

エッフェル塔特別ライトアップ

<エッフェル塔・日本の光を継ぐ>

## パリ日本文化会館

「井上有一 1916-1985 -書の解放-」展

「日本の食と文化を学ぶ」シリーズ  
日本食アトリエ<子供向け>

伝統工芸シリーズ  
匠の技と美  
伝統と先端と日本の地方の底力

講演会「クロードの『縞子の靴』」

ジャポニスム2018 テクノ・イベント

Tokyo HIT vol.3 クラブ・イベント feat.石野卓球

禅文化週間

「縄文」展

地方の魅力ー祭りと文化

①地方文化紹介企画

「歌舞伎役者 片岡仁左衛門」特別上映会

FUROSHIKI PARIS

からくり人形の動態展示

俳句討論会

「クロードの日本ー『百扇帖』をめぐる」

現代演劇シリーズ-藤田貴大演出

「書を捨てよ町へ出よう」

講演会「ジャポニスム:北斎とセザンヌ」

ジャズ 小曽根真  
featuring No Name Horses

シンポジウム「グローバル・プレイヤーと  
しての日仏協力:日仏協力の現実と未来」

日本映画の100年

②-1「日本映画再発見  
(4Kクラシック傑作選)」

③「現代監督特集」

シンポジウム「日本人が見たフランス、  
フランス人が見た日本」

「藤田嗣治」展

KINOTAYO現代日本映画祭

いけばな

高校生プレゼンテーション発表会

「日仏交流 この人に注目〜ジャポニスム  
2018につながる人と歴史」

2018ジャパン×フランス プロジェクト  
(日本の障害者による舞台芸術の発信/  
瑞宝太鼓 in フランス)

『FOUJITA』特別上映会

## パリ市立劇場 エスパス・カルダン

野村万作・萬斎・裕基×杉本博司  
「ディヴァイン・ダンス 三番叟」

現代演劇シリーズ-リーディング  
鮎屋法水作「ブルーシート」

前川知大作「散歩する侵略者」

コンテンポラリーダンス-川口隆夫  
「大野一雄について」

禅文化週間

## アンスティチュ・デュ・柔道

柔道 ②鏡開き講習会

## パリ市庁舎前

FUROSHIKI PARIS

## パリ4区庁舎

「東京画 SHIBUYA-TOKYO  
CURIOSITY」

## リセ・ギヨーム・ティレル・パリ

「日本の食と文化を学ぶ」シリーズ

日本食アトリエ<調理師学校・シェフ向け>

## アコホテルズ・アリーナ

柔道 ③展示

## シネマテーク・フランセーズ

河瀬直美監督

新作「Vision」特別上映

日本映画の100年

①「日本映画の発芽」

②-2「日本映画再発見  
(知られざる傑作特集)」

③「現代監督特集」

## ボンビドゥ・センター

「池田亮司 | continuum」展

「日本の食と文化を考える」シリーズ  
Pompidou Extra Festival!「亡霊の饗宴」

ジャポニスム2018 テクノ・イベント

テクノ・コンサート

「安藤忠雄」展

現代演劇シリーズ-岡田利規演出

「三月の5日間」リクリエーション  
「プラータナー:憑依のポートレート」

現代演劇シリーズ-木ノ下裕一監修・補綴  
杉原邦生演出・美術 木ノ下歌舞伎「動進帳」

河瀬直美監督特集 特別展・特集上映



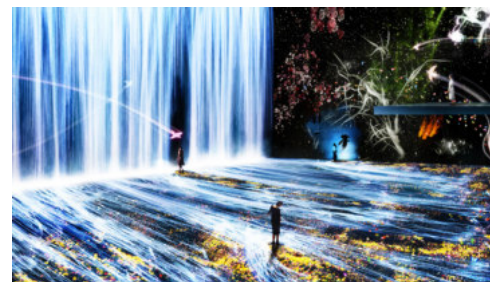


# 公式企画一覧



## 展覧会

### 展覧会



teamLab : Au-delà des limites (境界のない世界)

### 「teamLab : Au-delà des limites (境界のない世界)」展

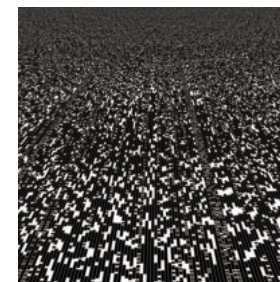
世界中で話題の展覧会を創り出し、国内外で大きな注目を集めているウルトラテクノロジスト集団「チームラボ」が手掛ける大規模な展覧会。

期間：2018年5月15日(火)～9月9日(日)

会場：ラ・ヴィレット

主催：国際交流基金、ラ・ヴィレット 特別協力：イル・ド・フランス州

### 展覧会



©Ryoji Ikeda Studio

### 「池田亮司 | continuum」展

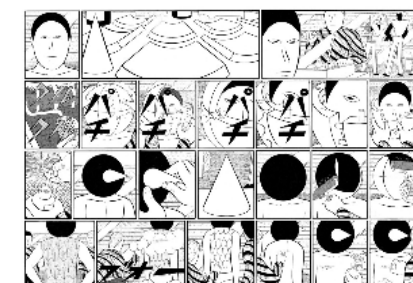
池田亮司の「音」、「光」、「データ」による最新のインスタレーション。

期間：2018年6月15日(金)～8月27日(月)

会場：ボンビドウ・センター

主催：国際交流基金、ボンビドウ・センター 協力：Almine Rech Gallery

### 展覧会



横山裕一「ドレスアップ」より(「ニュー土木」収録、©イースト・プレス、2003)

### 「Enfance / 子どもの時代」展

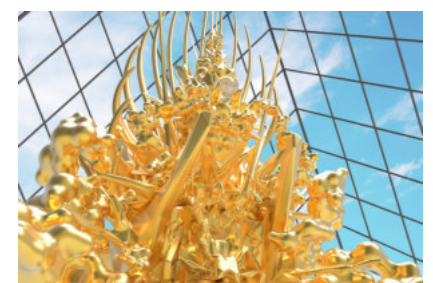
日本人漫画家を含む日仏、および国際的なアーティスト、フランス工芸職人などによる多彩な作品を、現代美術的なアプローチで紹介する日仏共同企画の展覧会。

期間：2018年6月22日(金)～9月9日(日)

会場：パレ・ド・トーキョー

主催：国際交流基金、パレ・ド・トーキョー 特別協力：ベタンクール・シュエラー財団  
協力：日本航空株式会社

### 展覧会



Throne ©Kohei NAWA | SANDWICH Inc.

### ルーブル美術館ピラミッド内 特別展示 名和晃平 彫刻作品 “Throne”

ルーブル美術館のピラミッドに浮遊する玉座。

彫刻家 名和晃平による大作。

期間：2018年7月13日(金)～2019年1月14日(月)

会場：ルーブル美術館・ピラミッド内

主催：国際交流基金、ルーブル美術館 協賛：株式会社サンドイッチ、高砂香料工業株式会社



展覧会



国宝 <火焔型土器> 十日町市博物館蔵  
前3,500～2,500年  
ANREALAGE, collaboration with NAWA Kohei |  
SANDWICH, ANREALAGE 2017-2018 autumn  
& winter collection "ROLL"

「深みへ-日本の美意識を求めて-」展

伝統と現代、混沌と形式、永遠と一瞬、2つで1つとなること-「日本の美意識」がひらく共存、共創への可能性。

期間：2018年7月14日(土)～8月18日(土)

会場：ロスチャイルド館

主催：国際交流基金 協力：キャノンマーケティングジャパン株式会社、日本航空株式会社

展覧会



〈老松白鳳図〉 (動植綵絵30幅のうち) 宮内庁三の丸尚蔵館蔵  
〈群鶏図〉 (動植綵絵30幅のうち) 宮内庁三の丸尚蔵館蔵  
〈釈迦如来像〉 京都・相国寺蔵

「若冲―(動植綵絵)を中心に」展

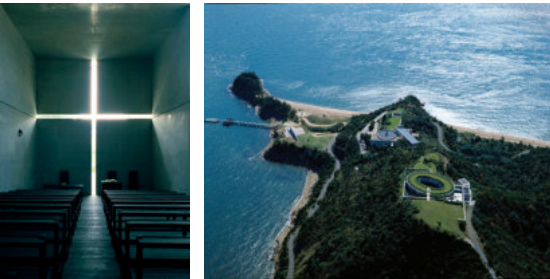
欧州初の大規模な若冲展。宮内庁三の丸尚蔵館の若冲最高傑作『動植綵絵』を、相国寺蔵『釈迦三尊像』と共にパリで紹介。

期間：2018年9月15日(土)～10月14日(日)

会場：パリ市立ブティ・バレ美術館

主催：国際交流基金、日本経済新聞社、宮内庁、パリ市立ブティ・バレ美術館/パリミュゼ

展覧会



<光の教会> 大阪府、1989年 撮影：松岡満男  
<直島 ベネッセハウス> 香川県1992年/1995年 撮影：松岡満男

「安藤忠雄」展

建築家・安藤忠雄の半世紀に及ぶ挑戦の軌跡と未来への展望に迫る。

期間：2018年10月10日(水)～12月31日(月)

会場：ボンビドウ・センター

主催：国際交流基金、ボンビドウ・センター、安藤忠雄建築展実行委員会

展覧会



《無我》1956年 京都国立近代美術館蔵 ©UNAC TOKYO  
《食》1972年 京都国立近代美術館蔵 ©UNAC TOKYO

「井上有一 1916-1985 -書の解放-」展

「書」の概念を塗り替え、前衛画家にも通ずる挑発的な作品を生み出した書家、井上有一。そのアグレッシヴで、オリジナルな表現の世界を紹介。

期間：①2018年7月14日(土)～9月15日(土)、②2018年9月29日(土)～12月17日(月)

会場：①パリ日本文化会館、②トゥールーズ・ロートレック美術館(アルビ)

主催：国際交流基金、トゥールーズ・ロートレック美術館(アルビ) 特別協力：京都国立近代美術館 協力：全日本空輸株式会社、日本貨物航空株式会社、株式会社ウナクトウキョウ、一般財団法人世界紙文化遺産支援財団紙守

展覧会



日本財団パラリンピックサポートセンターオフィスの壁画

「香取慎吾 NAKAMA des ARTS」展

「アートを題材にしてNAKAMAとつながりたい」というコンセプトのもと、絵画、オブジェだけでなく、ファッション、そして「新しい建築」とのコラボレーション作品を紹介。香取慎吾初の個展となる。

期間：2018年9月19日(水)～10月3日(水)

会場：ルーブル美術館シャルル5世ホール(カルーゼル・ドゥ・ルーブル内)

主催：株式会社モゴ・モガ 共催：国際交流基金

展覧会

「明治」展

激動の時代「明治」にスポットを当て、洋画、日本画などの近代絵画から、工芸、テキスタイルまで、多岐にわたる作品群により、明治という時代の美術的側面を紹介。

期間：2018年10月17日(水)～2019年1月14日(月)

会場：ギメ東洋美術館

主催：ギメ東洋美術館 特別協力：国際交流基金

展覧会



重要文化財 <遮光器土偶> 縄文時代(晩期)・前1000～前400年  
青森県つがる市木造亀ヶ岡出土 東京国立博物館蔵

「縄文」展

縄文時代の美を体現する国宝火焰型土器をはじめとした土器に加え、土偶や装身具など、多くの国宝や重要文化財を含む出土品を一堂に紹介。

期間：2018年10月17日(水)～12月8日(土)

会場：パリ日本文化会館

主催：国際交流基金、東京国立博物館、文化庁 協力：NHK、朝日新聞社

展覧会



©Jean Tholance/Les Arts Decoratifs

「ジャポニズムの150年」展

装飾美術館の日本美術コレクションと、日本から出品される工芸作品等、さらに、現代の作家、職人、デザイナーらの作品も展示。19世紀後半から現代までの工芸、デザイン、ファッションを横断的に紹介。

期間：2018年11月15日(木)～2019年3月3日(日)

会場：装飾美術館

主催：国際交流基金、装飾美術館

協賛：H&M、株式会社 資生堂、株式会社TASAKI、YKK株式会社 協力：Heart and Crafts

展覧会



《自画像》1929年 東京国立近代美術館蔵 ©Fondation Foujita / ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2018 E3048  
《猫》1940年 東京国立近代美術館蔵 ©Fondation Foujita / ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2018 E3048

「藤田嗣治」展

中南米からアジア、日本への旅。そして戦地へ――。パリに輝き、パリに没したフジタの知られざる時期の作品を中心に紹介。

期間：2019年1月16日(水)～3月16日(土)

会場：パリ日本文化会館

主催：国際交流基金、京都国立近代美術館 特別協力：朝日新聞社、NHK

展覧会



国宝〈風神雷神図屏風〉 依屋宗達筆 京都・建仁寺蔵 江戸時代

「京都の宝―琳派300年の創造」展

国宝 風神雷神図屏風のヨーロッパ初公開。宗達、光琳をはじめとする琳派の傑作が揃う、今後またとないであろう珠玉の展覧会。

期間：2018年10月26日(金)～2019年1月27日(日)

会場：パリ市立テュルヌスキ美術館

主催：国際交流基金、京都国立近代美術館、細見美術館、パリ市立テュルヌスキ美術館/パリミュゼ

展覧会



Akihabara, Tokyo's MANGA district.

「MANGA⇄TOKYO」展

都市〈東京〉を映し出してきた日本のマンガ・アニメ・ゲーム・特撮作品と、それらフィクションを注入された現実の〈東京〉の、複合的体験を提供する企画展示。

期間：2018年11月29日(木)～12月29日(土) (予定)

会場：ラ・ヴィレット

主催：国際交流基金、国立新美術館、文化庁、マンガ・アニメ展示促進機構、ラ・ヴィレット

展覧会



国宝 木造金剛力士立像(吽形) 写真提供：興福寺  
重要文化財 木造地藏菩薩立像 写真提供：興福寺、美術館  
国宝 木造金剛力士立像(阿形) 写真提供：興福寺

「古都奈良の祈り」展

奈良・興福寺の代表的仏像の展示をとおして、一千年以上の長きにわたって培われ・育まれてきた祈りの精神と美を紹介。

期間：2019年1月23日(水)～3月18日(月)

会場：ギメ東洋美術館

主催：奈良県、ギメ東洋美術館 共催：国際交流基金 特別協力：興福寺、奈良国立博物館、東京国立博物館、日本経済新聞社





## 舞台公演

### 舞台公演



宮内庁式部職楽部提供

#### 雅楽 宮内庁式部職楽部

宮内庁式部職楽部による雅楽の公演。  
平安時代に端を発し、宮廷、貴族社会、有力社寺で演奏されてきた雅楽が、平成のバリで蘇ります。

期間：2018年9月3日(月)  
会場：フィルハーモニー・ド・パリ

主催：国際交流基金、宮内庁、フィルハーモニー・ド・パリ  
協力：KAJIMOTO、有限会社伊藤事務所

### 舞台公演



『鳴神』鳴神上人：中村獅童

©篠山紀信

雲の絶間姫：中村七之助

©松竹

#### 松竹大歌舞伎

今をとぎめく中村獅童、中村七之助の主演により、バリの国立シャイヨー劇場で、歌舞伎の名作、『かざね』と『鳴神』を上演します。

期間：2018年9月13日(木)～19日(水) (9月17日休演)  
会場：国立シャイヨー劇場

主催：国際交流基金、国立シャイヨー劇場、文化庁 共催：フェスティバル・ドートンヌ・パリ  
製作：松竹株式会社 協賛：全日本空輸株式会社

### 舞台公演



古立ケンジ(和太鼓)



大野敬正(津軽三味線)

#### 邦楽ライブ 和太鼓×津軽三味線

邦楽の新たな可能性へ！一和太鼓・古立ケンジ×津軽三味線・大野敬正による伝統と革新のライブ・パフォーマンス。

期間：2018年7月5日(木)～6日(金)  
会場：ジャパン・エキスポ

主催：国際交流基金 協力：ジャパン・エキスポ

### 舞台公演



©DRUM TAO

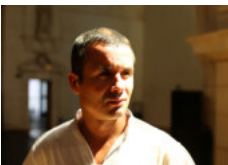
#### 和太鼓 DRUM TAO 『DRUM HEART』

世界23カ国・500都市・観客動員数700万人―世界を魅了する和太鼓集団がフランス初公演。

期間：2018年7月13日(金)、15日(日)  
会場：ラ・セーヌ・ミュージカル

主催：国際交流基金 協賛：Renault-Nissan-Mitsubishi

### 舞台公演



Kader Attou©CCN La Rochelle



Jann Gallois©Jody Carter



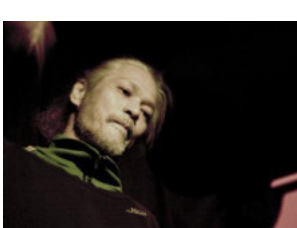
Tokyo Gegagay©Arisak

#### 日仏ダンス共同制作 トリプルビル

日仏の注目アーティストが共に創り出すヒップホップ・ダンスの最前線。

期間：2018年9月18日(火)～11月14日(水)  
会場：国立シャイヨー劇場、リヨン・ダンスビエンナーレ 他  
主催：国際交流基金、リヨン・ダンスビエンナーレ、国立シャイヨー劇場、ラ・ロシェル国立振付センター 共同制作：リヨン・ダンスビエンナーレ、国立シャイヨー劇場、Dance Dance Dance @ YOKOHAMA 2018、ラ・ロシェル国立振付センター 制作協力：パルコ

### 舞台公演



鮎屋法水 ©MEGUMI



前川知大 ©Ramon Onizawa

#### 現代演劇シリーズリーディング

鮎屋法水作『ブルーシート』、前川知大作『散歩する侵略者』

近年、日本で大きな話題となった2つの演劇作品をフランスの俳優たちがリーディング上演します。

期間：2018年9月22日(土)  
会場：パリ市立劇場 エスパス・カルダン  
主催：国際交流基金、パリ市立劇場 共催：東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)  
協力：国際演劇翻訳センター メゾン・アントワーン・ヴィテーズ

### 舞台公演



『月見座頭』世田谷パブリックシアター  
『狂言劇場その参』野村万作  
©Shinji Masakawa



『三番叟』野村萬斎  
©公益財団法人小田原文化財団



『三番叟』野村裕基  
©Shinji Masakawa

#### 野村万作・萬斎・裕基×杉本博司

『ディヴァイン・ダンス 三番叟』

日本を代表する現代美術作家・杉本博司による舞台空間の中、第一線で活躍する狂言師・野村万作、萬斎、裕基の親子三代による夢の共演！三人三様の三番叟に挑みます！

期間：2018年9月19日(水)～25日(火) (9月23日休演)  
会場：パリ市立劇場 エスパス・カルダン

主催：国際交流基金、パリ市立劇場 共催：公益財団法人小田原文化財団、フェスティバル・ドートンヌ・パリ 制作協力：公益財団法人せたがや文化財団 世田谷パブリックシアター

### 舞台公演



©ミュージカル『刀剣乱舞』製作委員会

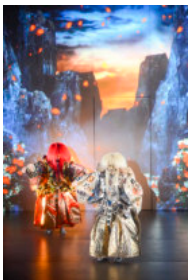
#### 【2.5次元ミュージカル】ミュージカル『刀剣乱舞』～阿津賀志山異聞2018 巴里～

名だたる刀剣が戦士の姿になった“刀剣男士”を育成する超人気ゲーム「刀剣乱舞-ONLINE-」(DMM GAMES/Nitroplus)を原案とする、ミュージカル『刀剣乱舞』がヨーロッパに初上陸！

期間：2018年7月15日(日)  
会場：パレ・デ・コングレ・ド・パリ大劇場

主催：ミュージカル『刀剣乱舞』製作委員会(ネルケプランニング ニトロプラス DMMGAMES ユークリッド・エージェンシー) 協力：一般社団法人 日本2.5次元ミュージカル協会

### 舞台公演



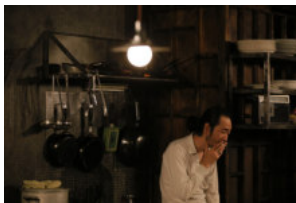
#### 宮本亜門演出 能×3D映像『YUGEN 幽玄』

宮本亜門演出、観世流能楽師出演による能楽と3D映像を初めて融合させた新たな日本文化の誕生！

期間：2018年9月

主催：国際交流基金 協力：一般財団法人観世文庫 協賛：Renault-Nissan-Mitsubishi

### 舞台公演



『ダークマスター』 ©Takashi Horikawa



『地獄谷温泉 無明ノ宿』 ©Shinsuke Sugino

#### 現代演劇シリーズタニノクロウ演出

『ダークマスター』『地獄谷温泉 無明ノ宿』

ここは日常か、非日常かー。倒錯した世界で生きる人間を緻密に描くタニノクロウ、2作品一挙に上演！

期間：『ダークマスター』2018年9月20日(木)～24日(月)  
『地獄谷温泉 無明ノ宿』2018年9月25日(火)～29日(土)

会場：国立演劇センター ジュヌビルエ劇場  
主催：国際交流基金、国立演劇センター ジュヌビルエ劇場 共催：東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)、フェスティバル・ドートンヌ・パリ 製作：庭劇団ベニノ



舞台公演



ジャポニスム2018 テクノ・イベント

パリ日本文化会館で第3回を数えるオールナイト・イベント。第1回からともにイベントを作り上げてきたフランスの音楽イベント集団Take Hitに加え、今回はボンビドゥー・センター、そしてパリにてTechno ParadeやParis Electronic Weekなど、大規模なテクノ・イベントを開催するTechnopolとタイアップしてイベントを実施します。

テクノ・コンサート

期間：2018年9月28日(金)  
会場：ボンビドゥ・センター  
主催：国際交流基金、ボンビドゥ・センター 共催：Technopol 協力：パリ日本文化会館

Tokyo HIT vol.3 クラブ・イベント feat.石野卓球

期間：2018年9月28日(金)  
会場：パリ日本文化会館  
主催：国際交流基金、パリ日本文化会館 共催：Take Hit  
協力：ボンビドゥ・センター、Technopol

舞台公演



野田秀樹演出『廣作 桜の森の満開の下』

「日本の素晴らしい作品が集結する『ジャポニスム2018』の公演ならば、ぜひ、野田秀樹作品を！」と、国立シヤイヨー劇場直々のラブコールを受けて、野田秀樹、3度目となるパリ公演が実現！

期間：2018年9月28日(金)～10月3日(水) (10月1日休演)  
会場：国立シヤイヨー劇場  
主催：国際交流基金、国立シヤイヨー劇場、東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)、NODA・MAP 協力：全日本空輸株式会社

舞台公演



©TAKAO SAKAI

ファブリック・シヤイヨー／島地保武  
ダンス創作のためのレジデンス・プログラム

島地保武が日本人として初参加。国立シヤイヨー劇場が才能溢れる振付家・ダンサーに提供する創造のためのレジデンス・プログラム。

期間：2018年9月～11月  
会場：国立シヤイヨー劇場  
主催：国際交流基金、国立シヤイヨー劇場

舞台公演



写真 青木信二

文楽

ユネスコ無形文化遺産に登録されている舞台芸術・人形浄瑠璃文楽。太夫、三味線、人形の三業が一体となって日本の情の世界を表現します。

期間：2018年10月12日(金)～13日(土)  
会場：シテ・ド・ラ・ミュージック  
主催：国際交流基金、フィルハーモニー・ド・パリ 協力：KAJIMOTO、公益財団法人文楽協会

舞台公演



©M.Tominaga

©S.Oguma

太鼓 林英哲と英哲風雲の会

世界初の太鼓独奏者・林英哲と彼が育て上げた実力派太鼓ユニット・英哲風雲の会による伝統と革新が織りなすライブパフォーマンス。

期間：2018年10月14日(日)  
会場：フィルハーモニー・ド・パリ  
主催：国際交流基金、フィルハーモニー・ド・パリ 協力：KAJIMOTO

舞台公演



©Jérémie Souteyrat

©Isamu UEHARA(Sun-Ad)

伶楽舎 × 森山開次

雅楽の演奏グループとして世界各国で公演をしている伶楽舎。今回の公演ではダンサー森山開次が現代雅楽作品を舞います。

期間：2018年10月13日(土)  
会場：フィルハーモニー・ド・パリ  
主催：国際交流基金、フィルハーモニー・ド・パリ 協力：KAJIMOTO

舞台公演



「藤娘」

「連獅子」

「八島」

©Tomoko Ogawa

日本舞踊

400年の伝統を有する日本舞踊。人間国宝・井上八千代、富山清琴をはじめ、伝統を受け継ぐ現代を代表する舞踊家と演奏家が、日本舞踊の真髄を披露。

期間：2018年10月14日(日)～15日(月)  
会場：シテ・ド・ラ・ミュージック  
主催：国際交流基金、フィルハーモニー・ド・パリ 協力：KAJIMOTO、日本舞踊協会

舞台公演



©Takuya Matsumi

コンテンポラリーダンスー川口隆夫『大野一雄について』

伝説の前衛舞踊家に寄せる全身全霊の讃歌。

期間：2018年10月2日(火)～5日(金)  
会場：パリ市立劇場 エスパス・カルダン  
主催：国際交流基金、パリ市立劇場 共催：フェスティバル・ドートンヌ・パリ

舞台公演



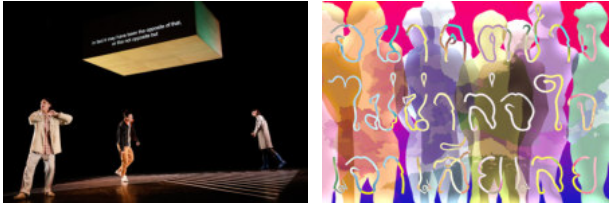
サンプル「ブリッジ」作・演出：松井周 ©青木司

現代演劇シリーズー松井周演出『自慢の息子』

観客の五感全てを呼び覚ます松井の代表作『自慢の息子』がフェスティバル・ドートンヌ・パリのプログラムにてヨーロッパ初演。テキストやイメージが精緻に積み重なる瞬間を見逃すな！

期間：2018年10月5日(金)～8日(月)  
会場：国立演劇センター ジュスビリエ劇場  
主催：国際交流基金、国立演劇センター ジュスビリエ劇場 共催：東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)、フェスティバル・ドートンヌ・パリ 企画・製作：一般社団法人サンプル

舞台公演



撮影：前澤秀登

宣伝美術：宮村ヤスヲ  
宣伝美術素材提供：ウティット・ヘーマムーン

現代演劇シリーズー岡田利規演出『三月の5日間』  
リクリエーション、『プラータナー：憑依のポートレート』

日本現代演劇の旗手・岡田利規(チェルフィッチュ主宰)が生み出す演劇の起点かつ新領域。

期間：『三月の5日間』リクリエーション 2018年10月17日(水)～20日(土)  
『プラータナー：憑依のポートレート』 2018年12月13日(木)～16日(日)  
会場：ボンビドゥ・センター  
主催：国際交流基金、ボンビドゥ・センター 共催：東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)、フェスティバル・ドートンヌ・パリ  
『三月の5日間』リクリエーション 製作：一般社団法人チェルフィッチュ、KAAT神奈川芸術劇場  
『プラータナー：憑依のポートレート』 製作：国際交流基金アジアセンター、株式会社precog、一般社団法人チェルフィッチュ 助成：公益財団法人セゾン文化財団

舞台公演



提供：KYOTO EXPERIMENT事務局 ©Yoshikazu Inoue

現代演劇シリーズー木ノ下裕一監修・補綴  
杉原邦生演出・美術 木ノ下歌舞伎『勸進帳』

古典と現代、日本とフランスの境を越え、歌舞伎の可能性を追求する演劇団体・木ノ下歌舞伎、ボンビドゥ・センター初見参！

期間：2018年11月1日(木)～3日(土)  
会場：ボンビドゥ・センター  
主催：国際交流基金、ボンビドゥ・センター 共催：東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団) 企画制作：木ノ下歌舞伎



舞台公演



©Naoko Takeuchi

**【2.5次元ミュージカル】“Pretty Guardian Sailor Moon” The Super Live**

日本の漫画、アニメ、ゲームが原作の2.5次元ミュージカル、いよいよヨーロッパへ！

世界中で愛される「美少女戦士セーラームーン」の魅力を活かした新たなパフォーマンスショーを上演。

期間：2018年11月3日(土)～4日(日)  
会場：パレ・デ・コングレ・ド・パリ大劇場  
主催：「Pretty Guardian Sailor Moon」 The Super Live製作委員会  
協力：一般社団法人 日本2.5次元ミュージカル協会

舞台公演



©Nobuhiko Hikiji

**現代演劇シリーズー藤田貴大演出  
『書を捨てよ町へ出よう』**

「言葉の錬金術師」寺山修司の初期代表作をマームとジプシーを率いる若手演劇人の藤田貴大が演出します。

期間：2018年11月21日(水)～24日(土)  
会場：パリ日本文化会館  
主催：国際交流基金 共催：東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)、フェスティバル・ドートンヌ・パリ

舞台公演



ill. by Sameyama Jiro ©CFM

**HATSUNE MIKU EXPO 2018 EUROPE**

日本から世界へと「創作の輪」を広げ続けるバーチャル・シンガー初音ミク。待望のヨーロッパ初上陸となるコンサートを開催！

期間：2018年12月1日(土)  
会場：ラ・セーヌ・ミュージカル  
主催：国際交流基金、ラ・セーヌ・ミュージカル 協力：クリプトン・フューチャー・メディア株式会社

舞台公演



©Masami Hioki

**宮城聰演出『マハーバーラタ ～ナラ王の冒険～』**

世界最高峰のフェスティバルであるアヴィニョン演劇祭で大絶賛された『マハーバーラタ』再びフランスへ！

期間：2018年11月19日(月)～25日(日)(11月22日休演)  
会場：ラ・ヴィレット  
主催：国際交流基金、ラ・ヴィレット 共催：SPAC・静岡県舞台芸術センター  
協力：全日本空輸株式会社

舞台公演



©Guillaume Deloire

**現代演劇シリーズー岩井秀人構成・演出  
『フレワレのモロモロ ジュヌピリエ編』**

岩井秀人×国立演劇センタージュヌピリエ劇場の日仏コラボレーションがフェスティバル・ドートンヌ・パリで実現。ジュヌピリエに生きる人々を取材しながら、フランス人と初の共同制作に挑む！

期間：2018年11月22日(木)～12月3日(月)  
会場：国立演劇センター ジュヌピリエ劇場  
主催：国際交流基金、国立演劇センター ジュヌピリエ劇場 共催：東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)、フェスティバル・ドートンヌ・パリ 協力：quinada

舞台公演



©大杉隼平

**ジャズ 小曽根真 featuring No Name Horses**

小曽根真が率いるビッグ・バンド、No Name Horsesによるジャズ・コンサート。

期間：2018年12月5日(水)～6日(木)  
会場：パリ日本文化会館  
主催：国際交流基金

舞台公演



©Théo Touvet

**コンテンポラリーダンスー伊藤郁女×森山未来  
『Is it worth to save us?』**

踊ることで世界は救えるのか？！  
フランスで活躍する振付家・ダンサー伊藤郁女と多彩な活動で注目を集める森山未来による初のデュオ。

期間：2018年12月18日(火)～20日(木)  
会場：メゾン・デザール・ド・クレティユ  
主催：国際交流基金、メゾン・デザール・ド・クレティユ  
協力：フランス文化通信省・イル・ド・フランス地域文化振興局(DRAC)、BNPパリバ財団  
制作：カンパニー姫 共同制作：KAAT神奈川芸術劇場

舞台公演



撮影：渡部孝弘／提供：ホリプロ

**蛭川幸雄演出『海辺のカフカ』**

村上春樹×蛭川幸雄。世界が注目する奇跡のコラボレーション、パリへ。

期間：2019年2月15日(金)～23日(土)(2月18日休演)  
会場：国立コリヌ劇場  
主催：国際交流基金、国立コリヌ劇場 共催：ホリプロ  
協力：全日本空輸株式会社、新潮社 企画制作：ホリプロ、TBS

舞台公演



『莫上』(シテ・浅見真州) ©Yoshihiro Maejima

**能楽**

野村萬、梅若実、浅見真州ら現代一流の能楽師が本格的能舞台で日本文化の精髓である能楽を披露する公演です。

期間：2019年2月6日(水)～10日(日)  
会場：シテ・ド・ラ・ミュージック  
主催：国際交流基金、日本経済新聞社、フィルハーモニー・ド・パリ 協力：KAJIMOTO  
協賛：株式会社ぐるなび、新菱冷熱工業株式会社、ダイキン工業株式会社、寺田倉庫株式会社、日本通運株式会社

舞台公演



©松永育子 Matsunaga Ikuko

**2018ジャポン×フランス プロジェクト  
(日本の障害者による舞台芸術の発信／瑞宝太鼓 in フランス)**

2017年フランス・ナント市で大絶賛された知的障害者によるプロの和太鼓集団「瑞宝太鼓」の公演を中心に、日本の障害者の優れた舞台芸術をフランスから世界に発信。

期間：ナント公演 2019年2月23日(土)～24日(日)  
パリ公演 2019年2月27日(水)～28日(木)  
会場：ナント公演 フランス国立現代芸術センター リュー・ユニック  
パリ公演 パリ日本文化会館

主催：文化庁、障害者の文化芸術国際交流事業実行委員会 共催：国際交流基金  
共同制作：パリ市立アル・サン・ピエール美術館、フランス国立現代芸術センター リュー・ユニック



## 映像

### 映像



#### KINOTAYO現代日本映画祭

13回目を迎えるKINOTAYO現代日本映画祭。「ジャポニスム2018」では、例年にも増して魅力的なプログラムを紹介します。

期間：①2018年11月～12月、②2019年1月17日(木)～26日(土)

会場：①ル・ヴォバンⅡ(サン・マロ)、ル・メリエス(ポー)、スター(ストラスブール)、リュミエール・ベルクール(リヨン)、ラストレ(シャンペリ)、ル・カネ・トワール、シネトワール・ロシュビル(ル・カネ)、ロランピア(カンヌ)、マルリマージュ(マルリ)、②パリ日本文化会館、クラブ・ドゥ・レトワール・シネマ(パリ)

主催：国際交流基金、KINOTAYO映画祭実行委員会  
協賛：日本貿易振興機構(ジェトロ)、ヴァル＝ドワーズ県、笹川日仏財団

### 映像



photographed by LESLIE KEE

#### 河瀬直美監督特集 特別展・特集上映

近年いよいよ脂が乗って活躍を続け、「ジャポニスム2018」公式オープニングでの新作特別上映が予定される河瀬直美監督の半生を、特別展と回顧上映会で追います。

期間：2018年11月23日(金)～2019年1月6日(日)

会場：ボンビドウ・センター

主催：国際交流基金、ボンビドウ・センター、フェスティバル・ドートンヌ・パリ  
特別協力：奈良県、フェスティバル・ドートンヌ・パリ

### 映像



©彼方舎

#### 『歌舞伎役者 片岡仁左衛門』特別上映会

日本を代表する記録映画作家、羽田澄子監督による日本映画史上空前のドキュメンタリー映画『歌舞伎役者 片岡仁左衛門』全6部、計10時間46分を、パリ日本文化会館にて一挙上映します。

期間：2018年11月9日(金)～10日(土)(調整中)

会場：パリ日本文化会館

主催：国際交流基金

### 映像



『Vision』 6月8日(金) 全国ロードショー 配給:LDH PICTURES  
©2018[Vision]LDH JAPAN, SLOT MACHINE, KUMIE INC.

#### 河瀬直美監督 新作『Vision』特別上映

フランスが愛する日本人映画監督・河瀬直美の新作『Vision』を、「ジャポニスム2018」公式オープニング事業としてインターナショナルプレミア上映。

期間：2018年7月中旬

会場：シネマテーク・フランセーズ

主催：国際交流基金、シネマテーク・フランセーズ 特別協力：奈良県、吉野町  
協賛：Renault-Nissan-Mitsubishi

### 映像



『東京暮色』  
©1957/2017 Shochiku Co., Ltd



『わが母の記』  
©2012 Chronicle of My Mother Film Partners



『花菱』  
©karatsu film partners/PSC2017



『親密さ』  
©ENBUゼミナール

#### 日本映画の100年

日本映画の100年の歴史を119本の映画で紹介します。1920年代の作品から2018年の最新作まで、日仏の専門家が共に選ぶ珠玉のラインナップです。

期間：①「日本映画の発芽」：2018年9月26日(水)～10月14日(日)、②-1「日本映画再発見(4Kクラシック傑作選)」：2018年12月、②-2「日本映画再発見(知られざる傑作特集)」：2019年1月末～2月、③「現代監督特集」：2019年1月末～2月

会場：① シネマテーク・フランセーズ、②-1 パリ日本文化会館、②-2 シネマテーク・フランセーズ、③ シネマテーク・フランセーズ、パリ日本文化会館、①～③ アンスティエ・リュミエール(リヨン)、シネマテーク・ドゥ・ニース、シネマテーク・ドゥ・トゥールーズ、ヴズール国際アジア映画祭

主催：国際交流基金、国立映画アーカイブ、シネマテーク・フランセーズ 他  
特別協賛：木下グループ、Renault-Nissan-Mitsubishi

### 映像



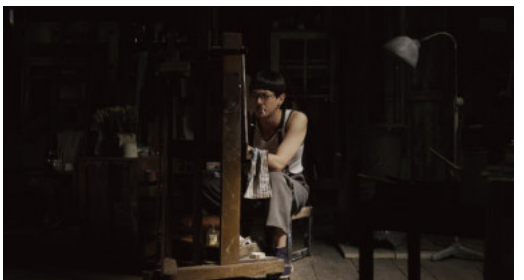
©Gédéon Programmes / NHK

#### テレビ日本月間

フランスのテレビが日本のドキュメンタリー、映画、アニメ他日本のコンテンツを集中的に放送します。

主催：国際交流基金、ARTE 他

### 映像



©2015「FOUJITA」製作委員会

#### 『FOUJITA』特別上映会

藤田嗣治展開催に合わせ、小栗康平監督の最新映画『FOUJITA』(2015年)をフランスで初めて上映します。

期間：2019年2月

会場：パリ日本文化会館 他

主催：国際交流基金





## 生活文化 他

生活文化 他



### 「日本の食と文化を考える」シリーズ

日本の味覚を楽しむだけではありません。アートと食の関わり、地方文化としての郷土食、学際的な食研究、日仏文化におけるお茶の位置付けといった、さまざまな切り口から食の本質に迫り、日仏が共に考えるきっかけ作りをします。

### Pompidou Extra Festival!「亡霊の饗宴」

期間：2018年9月8日(土)  
会場：ボンビドゥ・センター  
主催：国際交流基金、ボンビドゥ・センター

### 日本へのクリエイティブな旅展 「日本のガストロノミー：地方の食文化を中心に」

期間：2018年10月15日(月)～19日(金)  
会場：国際連合教育科学文化機関(UNESCO)本部  
主催：国際交流基金、日本へのクリエイティブな旅展実行委員会

### 食文化シンポジウム

期間：2019年2月4日(月)～5日(火)  
会場：ソルボンヌ大学  
主催：国際交流基金、ソルボンヌ大学  
企画監修：相原由美子

### 日本茶講演会

期間：2018年12月(日付調整中)  
会場：調整中  
主催：国際交流基金

生活文化 他

生活文化 他



伝統的工芸品産業振興協会提供

### 伝統工芸シリーズ

日本のものづくりの原点、日本各地で長い時間をかけて受け継がれてきた日本の匠の技と美を、工芸品の展示や職人による製作実演とワークショップ等多彩な企画で総合的に紹介します。

### 匠の技と美

期間：2018年9月15日(土)～22日(土)  
会場：パリ日本文化会館、ESPACE DENSAN(Maison WA内)  
主催：国際交流基金、伝統的工芸品産業振興協会

### 日本の木で繋ぐ「和」の空間

期間：2018年11月9日(金)～12日(月)、11月17日(土)～24日(土)(調整中)  
会場：バルク・エクスポ/ヴァッケン(ストラスブール・サロン・レジナンス)、ESPACE DENSAN(Maison WA内)  
主催：国際交流基金、伝統的工芸品産業振興協会、日本木材輸出振興協会

### 伝統と先端とー日本の地方の底力

期間：2019年2月5日(火)～16日(土)、2月20日(水)～24日(日)  
会場：パリ日本文化会館、ESPACE DENSAN(Maison WA内)、ナント・コスモポリス  
主催：国際交流基金、自治体国際化協会(CLAIR)

生活文化 他



### 「日本の食と文化を学ぶ」シリーズ

フランスのシェフ、調理師を志す学生から一般・子供まで、さまざまな層を対象に、お菓子やお茶も含めた日本の食文化を学ぶためのセミナー・ワークショップを開催。理論と実践で日本の食の魅力を伝えます。

### 日本食アトリエ<子供向け>

期間：2018年7月18日(水)、10月13日(土)、2019年2月(日付調整中)  
会場：パリ日本文化会館  
主催：国際交流基金  
企画監修：相原由美子

### 日本食アトリエ<調理師学校・シェフ向け>

期間：2018年10月～11月(日付調整中)、12月7日(金)、2019年1月(日付調整中)  
会場：調理師職業リセ他(パリ、クリシー、ストラスブール、トゥール等)  
主催：国際交流基金  
企画監修：相原由美子

### 日本茶アトリエ

期間：2018年11月(日付調整中)  
会場：調整中  
主催：国際交流基金

生活文化 他



### 「日本の食と文化を楽しむ」シリーズ

パリ市内のレストランやワインバーの協力を得て、街中で広く、集中的に、日本の食、お酒、お茶を味わい楽しむ機会を提供します。

### 酒巡り in Paris

期間：2018年9月29日(土)～10月5日(金)  
会場：パリ市内のレストラン、バー、カフェ等  
主催：国際交流基金 協力：Salon du saké、パソナ農援隊  
企画監修：関口涼子

### 日本のお酒試飲のタベ

期間：2018年11月(3日間/日付調整中)、2019年2月(3日間/日付調整中)  
会場：パリ市内のワインバー  
主催：国際交流基金 協力：蔵マスター  
企画監修：相原由美子

### 日本茶月間

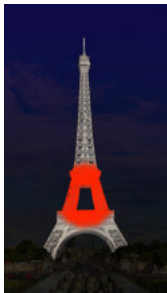
期間：2018年12月(日付調整中)  
会場：パリ市内のカフェ、バー  
主催：国際交流基金、日本航空株式会社 他



石井幹子 MOTOKO ISHII



石井リーサ明理  
AKARI-LISA ISHII



### エッフェル塔特別ライトアップ ＜エッフェル塔・日本の光を纏う＞

パリの象徴的存在、エッフェル塔を特別にライトアップ。フランスのランドマークに日本の文化を重ね、フランスを代表するモニュメントが日本の光を纏う、輝くアート作品を創造します。

期間：2018年9月13日(木)～14日(金)  
会場：エッフェル塔

主催：国際交流基金、ジャポニスム2018エッフェル塔特別ライトアップ実行委員会  
協賛：パナソニック、スタンレー電気、島精機製作所、日本航空株式会社、全日本空輸株式会社、NTTコミュニケーションズ、光文化フォーラム  
特別協力：パリ市、エッフェル塔運営会社  
協力：東京国立博物館、根津美術館  
企画・プロデュース：石井幹子&石井リーサ明理  
実施デザイン・制作：石井幹子&石井幹子デザイン事務所、石井リーサ明理&I.C.O.N., Paris





西村 恵学

### 禅文化週間

禅に関わる書画・庭園・茶道などを取り上げた映像上映や展示、坐禅会、写禅語体験会、老師による講演を通し禅の精神を伝えます。本プロジェクトの一部はリヨン地方へ巡回します。

期間：2018年10月2日(火)～7日(日)  
会場：パリ日本文化会館、パリ市立劇場 エスパス・カルダン 他  
主催：国際交流基金 企画：臨済宗黄檗宗連合各派合議所/禅文化研究所



### 地方の魅力ー祭りと文化

12の地方自治体と連携し、各地伝来の7つの祭り・踊りと15の民俗芸能公演や生活文化企画を11日間にわたり集中的に紹介。まだフランスで十分には知られていない部分も含め、日本の各地方に根ざした、彩り豊かな文化を伝えます。

期間：①地方文化紹介企画：2018年10月17日(水)～27日(土)  
②祭り/踊り企画：2018年10月20日(土)～22日(月)  
会場：①パリ日本文化会館、②アクリマタシオン庭園  
主催：国際交流基金、地方自治体、日本政府観光局(JNTO)、自治体国際化協会(CLAIR)  
特別協力：アクリマタシオン庭園



### いけばな

日本のいけばなの5つの流派(池坊、一葉式いけばな、小原流、草月流、末生流)がパリに会し、作品展示やシンポジウム、ワークショップを通して、華道の真髄を紹介します。

期間：2019年1月30日(水)～2月2日(土)  
会場：パリ日本文化会館  
主催：国際交流基金、日本いけばな芸術協会、いけばなインターナショナル



### スポーツ交流

東京2020からパリ2024へ、オリンピック・パラリンピック開催を見据え、さまざまなスポーツを通じた日仏交流事業を企画します。

期間：日付調整中  
会場：調整中  
主催：国際交流基金、在フランス日本国大使館、イル・ド・フランス州 他



### 柔道

世界の柔道大国の日本とフランスが、子どもから指導者まで、老若男女さまざまなレベルでの柔道交流を深めます。

期間：①講習会・体験会：2018年12月7日(金)～9日(日)、②鏡開き講習会：2019年1月19日(土)～20日(日)、③展示：2019年2月9日(土)～10日(日)  
会場：①ル・グラン・ドーム(ヴェルボン＝シュル＝イヴエット)、マルセイユ、②アンスティテュ・デュ・柔道、③アコーホテルズ・アリーナ(グランドスラム・パリ大会)  
主催：国際交流基金、講道館、フランス柔道連盟



### 茶の湯

茶道具の展覧会、シンポジウム、茶会を組み合わせ企画して、見て、聞いて、体験することを通じ、茶道の「和敬清寂」の精神を伝え、日本の伝統文化を代表する茶の湯の美学を味わう機会を提供します。

期間：2019年2月(日付調整中)  
会場：ギメ東洋美術館別館ホテル・ハイデルバッハ  
主催：国際交流基金、裏千家、ギメ東洋美術館

### 講演・シンポジウム

文学、歴史、芸術・美術、国際関係ほか様々な切り口から、日本とフランスの接触と交流の歩みや、両国共通の課題への取り組みについて、日仏が共に考え、語り合う場を提供します。

### 講演会「クローデルの『縐子の靴』」

期間：2018年9月20日(木)  
会場：パリ日本文化会館  
主催：国際交流基金

### 俳句討論会「クローデルの日本ー『百扇帖』をめぐる」

期間：2018年11月20日(火)  
会場：パリ日本文化会館  
主催：国際交流基金 協力：ポール・クローデル生誕150年記念企画委員会

### 講演会「ジャポニスム：北斎とセザンヌ」

期間：2018年11月22日(木)  
会場：パリ日本文化会館  
主催：国際交流基金

### シンポジウム「グローバル・プレイヤーとしての日仏協力：日仏協力の現実と未来」

外交関係樹立160年を迎えた日仏は今、テロや安全保障、移民・難民等のグローバルイシューにどう向き合うのか。その中で広報文化外交の持つ力とは。国際舞台における日仏協力の可能性を考えます。

期間：2018年12月7日(金)～8日(土)  
会場：パリ日本文化会館  
主催：国際交流基金、東京外国語大学

### シンポジウム「日本人が見たフランス、フランス人が見た日本」

1858年以降、日仏は外交、芸術、文学等、多方面で交流を深めていきます。両国が互いにどのような魅力を見出し、いかに相手国を受容したのか、文化や社会にはいかなる影響があったかを、日仏の専門家が探ります。

期間：2019年1月11日(金)～12日(土)  
会場：パリ日本文化会館  
主催：国際交流基金、人間文化研究機構



### 高校生プレゼンテーション発表会

### 「日仏交流 この人に注目～ジャポニスム2018につながる人と歴史」

「ジャポニスム2018」期間中に行われる様々なイベントや書籍等を通じて、仏の高校生が自分たちで調べ、考えたことを日本語で発表します。テーマは、日本とフランスの交流の歴史を築き上げた人物たち。フランス語を学ぶ日本の高校生も参加します。

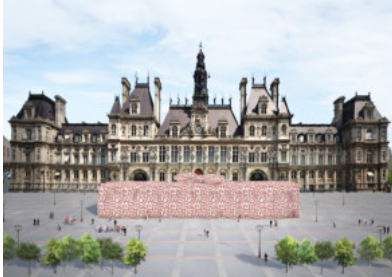
期間：2019年2月9日(土)  
会場：パリ日本文化会館  
主催：パリ日本文化会館 後援：在フランス日本国大使館 協力支援：パリ日本文化会館支援協会 協賛：全日本空輸株式会社、日本航空株式会社、東日本旅客鉄道株式会社、日本政府観光局(JNTO)、NHKコスモメディア



## 特別企画

### パリ東京文化タンデム2018

姉妹都市である東京都とパリ市が中心となって実施する文化交流事業「パリ東京文化タンデム」のうち、以下の4件を「ジャポニスム2018特別企画」として実施します。



FUROSHIKI PARIS © Atelier Tsuyoshi Tane Architects

### 1. FUROSHIKI PARIS

風呂敷をテーマに東京の伝統文化や芸術などの魅力を発信するアートイベント。

期間：①2018年11月上旬(調整中)  
②2018年11月  
会場：①パリ市庁舎前、②パリ日本文化会館

### 2. アール・ブリュット ジャポネⅡ

日本人のアール・ブリュット作家の作品を展示。

期間：2018年9月8日(土)～2019年3月10日(日)  
会場：パリ市立アル・サン・ピエール美術館

### 3. からくり人形の動態展示

江戸東京博物館の企画協力による江戸の技術の粋「からくり人形」の動態展示。

期間：2018年11月上旬(調整中)  
会場：パリ日本文化会館

### 4. 「東京画 SHIBUYA-TOKYO CURIOSITY」

渋谷をテーマに、世界の写真家100名が撮り下ろした写真プロジェクト。プリント、映像、写真集で描き出す重層的な東京絵巻。

期間：2018年10月18日(木)～11月17日(土)  
会場：パリ4区庁舎



## 日程表

2018年							2019年				
5月		6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
展覧会	「teamLab : Au-delà des limites(境界のない世界)」展						「藤田嗣治」展				
	「池田亮司   continuum」展				「縄文」展			「古都奈良の祈り」展			
	「Enfance / こども時代」展				「明治」展						
	「深みへ-日本の美意識を求めて-」展										
	「井上有ー 1916-1985 -書の解放-」展				①			②			
	ルーブル美術館ピラミッド内 特別展示 名和晃平 彫刻作品 “Throne”										
	「若冲ー(動植綵絵)を中心に」展				「MANGA⇄TOKYO」展						
				「安藤忠雄」展							
「香取慎吾 NAKAMA des ARTS」展				「京都の宝ー琳派300年の創造」展							
				「ジャポニスムの150年」展							
舞台公演	邦楽ライブ 和太鼓×津軽三味線			雅楽 宮内庁式部職楽部			現代演劇シリーズー藤田貴大演出『書を捨てよ町へ出よう』				
	和太鼓 DRUM TAO『DRUM HEART』			松竹大歌舞伎※1			現代演劇シリーズー岩井秀人構成・演出『ワレワレのモロモロ ジュヌビリエ編』				
	野村万作・萬斎・裕基×杉本博司『ディヴァイン・ダンス 三番叟』※2			現代演劇シリーズー岡田利規演出『三月の5日間』リクリエーション							
	現代演劇シリーズータニノクロウ演出『ダークマスター』『地獄谷温泉 無明ノ宿』			現代演劇シリーズー岡田利規演出『ブラータナー：憑依のポートレート』							
	[2.5次元ミュージカル]			現代演劇シリーズー松井周演出『自慢の息子』			現代演劇シリーズー木ノ下裕一監修・補綴 杉原邦生演出・美術 木ノ下歌舞伎『勸進帳』				
	ミュージカル『刀剣乱舞』～阿津賀志山異聞2018 巴里～			宮本亜門演出 能×3D映像『YUGEN 幽玄』			コンテンポラリーダンスー伊藤郁女×森山未来『Is it worth to save us?』				
	現代演劇シリーズーリーディング 鮎屋法水作『ブルーシート』、前川知大作『散歩する侵略者』			伶楽舎 × 森山開次			宮城聡演出『マハーバーラタ ～ナラ王の冒険～』※4				
				野田秀樹演出『廣作 桜の森の満開の下』※3			HATSUNE MIKU EXPO 2018 EUROPE				
				コンテンポラリーダンスー川口隆夫『大野一雄について』			能楽				
				ジャポニスム2018 テクノ・イベント テクノ・コンサート			日本舞踊				
				ジャポニスム2018 テクノ・イベント Tokyo HIT vol.3 クラブ・イベント feat.石野卓球			[2.5次元ミュージカル]“Pretty Guardian Sailor Moon” The Super Live				
							ジャズ 小曽根真 featuring No Name Horses				
映像	河瀬直美監督 新作『Vision』特別上映			河瀬直美監督特集 特別展・特集上映							
				テレビ日本月間		①		②		KINOTAYO現代日本映画祭	
				日本映画の100年		①		②-1		②-2、③	
						『歌舞伎役者 片岡仁左衛門』特別上映会				『FOUJITA』特別上映会	
生活文化他	「日本の食と文化を学ぶ」シリーズ 日本食アトリエ<子供向け>										
	「日本の食と文化を学ぶ」シリーズ 日本食アトリエ<調理師学校・シェフ向け>										
	「日本の食と文化を楽しむ」シリーズ 酒巡り in Paris										
	「日本の食と文化を楽しむ」シリーズ 日本の お酒試飲のタベ										
	「日本の食と文化を考える」シリーズ Pompidou Extra Festival!「亡霊の饗宴」										
	エッフェル塔特別ライトアップ<エッフェル塔・日本の光を纏う>										
	伝統工芸シリーズ 匠の技と美										
	禅文化週間										
	講演会「クロードルの『繻子の靴』」										
	地方の魅力ー祭りと文化										
	伝統工芸シリーズ 伝統と先端とー日本の地方の底力										
	茶の湯										
	柔道										
	講演会「ジャポニスム：北斎とセザンヌ」										
	いけばな										
	シンポジウム「日本人が見たフランス、フランス人が見た日本」										
高校生プレゼンテーション発表会											
「日仏交流 この人に注目～ジャポニスム2018につながる人と歴史」											
特別企画	FUROSHIKI PARIS										
	アール・ブリュット ジャポネⅡ										
	からくり人形の動態展示										
「東京画 SHIBUYA-TOKYO CURIOSITY」											

※1:9月17日休演、※2:9月23日休演、※3:10月1日休演、※4:11月22日休演、※5:2月18日休演、

オフィシャルパートナー、オフィシャルサポーターなど

オフィシャルパートナー



パリ日本文化会館・日本友の会

オフィシャルサポーター



特別協力



協力



日仏合同委員会



関係省庁



パリ日本文化会館・日本友の会とは

日仏の官民協同により、1997年に設立されたパリ日本文化会館は、フランスにおける日本文化の発信拠点です。伝統文化に始まり今日の日本を語る現代文化まで、あらゆる角度から日本を紹介してきました。これまでに、展示、公演、映画、講演会の実施や図書館運営を行ってきたほか、日本語教育の普及や和食文化の紹介、さらには茶道・書道・生け花・折り紙・マンガなど多彩な内容の教室を実施しています。日本友の会は、日仏・官民協同の理念を継続的に具現化していく日本側の民間組織として、フランス側の支援協会とともに1998年に発足し、パリ日本文化会館がフランスおよび欧州において幅広い活動を展開していく事業支援を行っています。

株式会社 アイアンドエス・ビービーディオ	昭和電工株式会社	日油株式会社
曙ブレーキ工業株式会社	株式会社 新潮社	日産自動車株式会社
株式会社 アサツー ディ・ケイ	新日鐵住金株式会社	株式会社 日本経済新聞社
アサヒグループホールディングス株式会社	住友化学株式会社	日本航空株式会社
株式会社 朝日新聞社	住友生命保険相互会社	株式会社 日本広告社
味の素株式会社	損害保険ジャパン日本興亜株式会社	日本電気株式会社
茶道裏千家 今日庵	全日本空輸株式会社	日本ミシュランタイヤ株式会社
株式会社 NHKエンタープライズ	ダイキン工業株式会社	株式会社 博報堂
オリックス株式会社	大成建設株式会社	株式会社 パナソニックグループ
株式会社 オンワードホールディングス	大日本印刷株式会社	東日本旅客鉄道株式会社
鹿島建設株式会社	高砂香料工業株式会社	株式会社 日立製作所
キッコーマン株式会社	株式会社 竹中工務店	株式会社 フジテレビジョン
キヤノン株式会社	株式会社 テレビ朝日	株式会社 文藝春秋
株式会社 講談社	株式会社 テレビ東京	株式会社 毎日新聞社
株式会社 産業経済新聞社	株式会社 電通	丸紅株式会社
サントリーホールディングス株式会社	東京電力ホールディングス株式会社	株式会社 三城ホールディングス
株式会社 ジェイティービー	株式会社 東芝	三井物産株式会社
株式会社 塩崎ビル	凸版印刷株式会社	三菱重工業株式会社
株式会社 資生堂	株式会社 東京放送ホールディングス	三菱商事株式会社
四国電力株式会社	株式会社 虎屋	株式会社 読売新聞東京本社
清水建設株式会社	東レ株式会社	株式会社 ワコール
株式会社 集英社	トヨタ自動車株式会社	他7社
株式会社 小学館	豊田通商株式会社	

(計74社、五十音順)



LA FRANCE À L'HEURE DU JAPON



国際交流基金 ジャポニスム事務局

〒160-0004 東京都新宿区四谷 4-3

Tel. 03-5369-6022

<https://japonismes.org/>

\*掲載されている情報は2018年6月20日現在のものです。

## 「ジャポニスム2018」広報について

	日本	フランス
プレス 広報	<p>(1) 個別企画の記者発表・ニュースリリース配信 共催団体と連携して、発表時期・内容を検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地方の魅力ー祭りと文化（4月6日）</li> <li>・エッフェル塔ライトアップ（4月17日）</li> <li>・松竹大歌舞伎（4月26日）</li> <li>・香取慎吾氏広報大使決定・公式企画追加（5月28日）等</li> </ul> <p>(2) オープニング前の情報発信 出陣祝賀会（7月2日予定）</p> <p>(3) メディアへの個別の働きかけ</p> <p>(4) プレスツアー（7月中旬、9月下旬頃フランスに派遣予定）</p>	<p>(1) プレスリリース</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・訪仏する事業関係者へのインタビュー調整</li> <li>・プレスキット配布</li> <li>・オープニングに向けてのプレス招待 等</li> </ul> <p>(2) 共催機関広報連絡会議</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・月1回程度、各機関の担当者を一同に集め、広報連携について協議</li> </ul> <p>(3) プレスツアー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4月14日～21日 及び 22日～29日の2回実施</li> <li>・各12名、計24名を招へいし、ジャポニスム2018に 関係するアーティスト、共催者等との懇談や、関連文化 施設等を視察</li> </ul>
一般広報	<p>(1) 公式サイトリニューアル（日仏英）（4月10日）</p> <p>(2) S N S（日英）運用：Facebook、Twitter</p> <p>(3) タイアップ記事など</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・雑誌「CREAトラベラー」（3月、6月）</li> </ul> <p>(4) ノベルティグッズ（Tシャツ、法被等）制作⇒仏で活用</p> <p>(5) ジャック・ラング元仏文化大臣招へい（5～6月）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安藤国際交流基金理事長との対談を7月上旬に 日経新聞に掲載予定</li> </ul>	<p>(1) メディアパートナー（タイアップ広告、7月以降）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ル・モンド等、計7社</li> </ul> <p>(2) 広告スペースの購入（7月以降）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ポスター：市中、地下鉄・鉄道駅等</li> <li>・雑誌：Beaux Arts、L'Oeil、TIMEOUT等</li> </ul> <p>(3) 映画館での広報映像上映（7月以降）</p> <p>(4) S N S運用：Facebook、Twitter、Instagram</p> <p>(5) 一般配布プログラム・マップ等の制作</p> <p>(6) ノベルティグッズ（バッグ・缶バッジ）制作</p> <p>(7) 情報センター（パリ日本文化会館地上階）開設 （6月下旬予定）</p> <p>(8) 日本人会との連携：「希望祭」（5月27日）での P R</p>

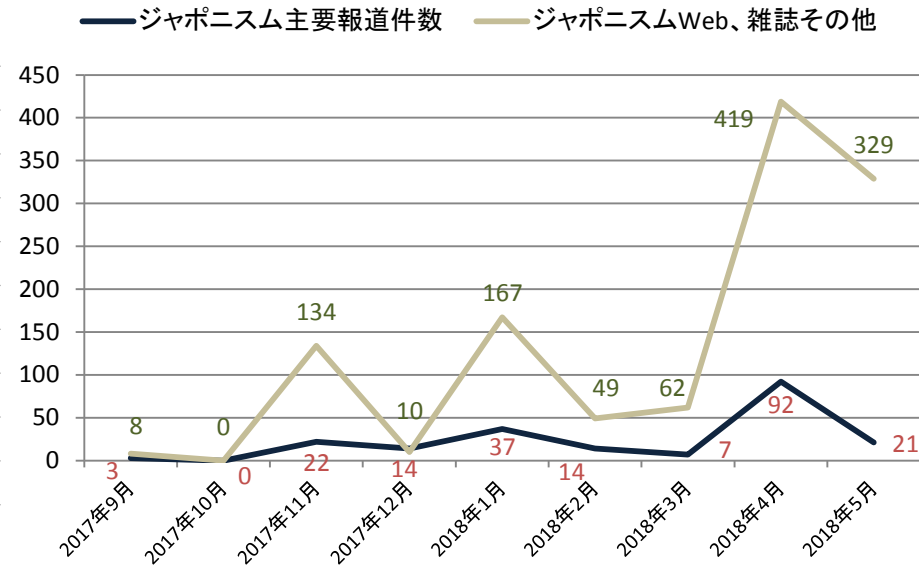


# 「ジャポニスム2018」報道状況（国内）

## ジャポニスム関連国内報道件数（月次）

日付	国内TV	主要6紙	地方紙	主要報道 件数計	Web、雑誌 その他	合計
2017年9月	1	2	0	3	8	11
2017年10月	0	0	0	0	0	0
2017年11月	1	11	10	22	134	156
2017年12月	0	6	8	14	10	24
2018年1月	2	16	19	37	167	204
2018年2月	0	9	5	14	49	63
2018年3月	2	1	4	7	62	69
2018年4月	2	19	71	92	419	511
2018年5月	2	6	13	21	329	350
合計	10	80	120	210	1178	1388

## ジャポニスム関連報道の推移（月次）



主要6紙：朝日、産経、東京、日経、毎日、読売（五十音順）

「地方の祭り」仏で紹介  
国際交流基金は6日、フランス  
パリで開かれる日本博「ジャポ  
ニスム2018 響きあう魂」で  
10月に行つた公式企画「地方の魅力  
」祭りと文化の魅力を発表した。  
日本国内の12自治体と共催し、各  
地の祭りや民俗芸能を、実演を交  
えて幅広く紹介していく。  
「地方の魅力」は10月17日から  
27日にかけて2会場で開催され、  
パリ西部のアクリマシオン庭園  
では、祭り、踊りをパレードや舞  
台で披露する。参加するのは、鬼剣  
舞（さき）踊り（若手県）信玄公祭  
り（山梨県）阿波おどり（徳島県）  
よこい（高知県）など。

歌舞伎俳優、  
中村獅童（45）  
写真右と中村  
七之助（34）  
左が26日、東  
京・有楽町の日  
本外国特派員協  
会で行われた日  
仏友好160年  
記念イベント  
「ジャポニスム2018  
：響きあう魂」の記者会  
見に出席した。  
2人は9月13日にパリ  
のフランス国立シヤイヨ  
ー劇場で開幕する「松竹  
大歌舞伎」  
9月仏で「松竹大歌舞伎」  
獅子息子同行に「楽しみ」  
記  
本淳一社長（65）が「歌舞  
伎は元々女性の芸術なの  
で可能性はある」と前向  
きに語ると、七之助は  
「女形としては、おまん  
ま食い上げになつてしま  
う」と笑わせた。

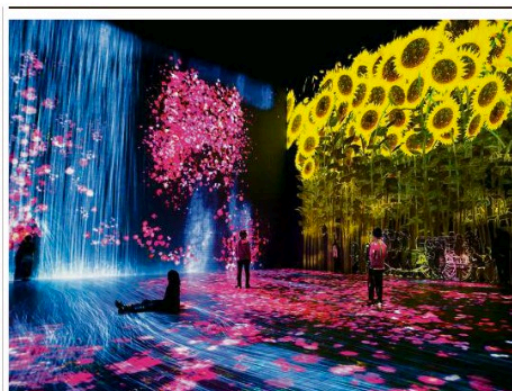


エッフェル塔に日本の美 9月ライトアップ  
世界的な照明デザイナーの石井  
幹子さん（79）と長女の石井リーサ  
明理さん（48）親子が9月13・14日  
の2夜、パリのエッフェル塔に光  
で日本の美をまとわせる「特別ラ  
イトアップ」を企画・プロデュ  
ースする。夜空に浮かぶエッフェル  
塔に太陽が昇り、尾形光琳の燕子  
花が咲き乱れる趣向だ（写真はイ  
メージ）。  
17日、東京都内で記者会見を開  
いた。日仏友好160周年を記念す  
る日本文化紹介行事「ジャポニ  
スム2018」の一環で、パリ市やエ  
ッフェル塔の運営会社が特別協力。  
ライトアップは日没から午前1時  
まで。  
幕開けでは雅楽が流れ、光で白  
く染めたエッフェル塔に真っ赤な  
太陽が鮮やかに昇る。続いて雪を頂  
く富士や海上に輝く月、満開の桜  
で表す「雪月花」の投影、尾形光  
琳作の国宝「燕子花図屏風」を光  
で鮮やかに再現するプロジェク  
ションマッピングと、計10分間にわ  
たる光のページェントだ。  
スタンレー電気（東京）が開発  
した金色の光のLED投光器な  
ど、日本の技術を結集させる。  
「通りがかりでも見てもらえるラ  
イトアップは大きな扉。今の日本  
を知って欲しい」と幹子さん。  
（西本ゆか）

## 「ジャポニスム2018」報道状況（フランス）

	新聞・雑誌	TV/ラジオ	WEB	計
2017年11月	1	0	5	6
2017年12月	4	1	4	9
2018年1月	19	1	12	32
2018年2月	7	0	9	16
2018年3月	8	0	14	22
2018年4月	7	0	24	31
2018年5月	16	3	25	44
合計	62	5	93	160

## パリでのポスター掲出イメージ （7月以降）



L'exposition «TeamLab: au-delà des limites», à la Grande Halle de La Villette, à Paris. (L'Espresso)

## L'exposition de TeamLab dont vous êtes le héros

Le collectif japonais présente « Au-delà des limites » à La Villette, une plongée interactive dans un monde sans cadre

**ARTS**  
**T**oushi en est persuadé : « Un moment de beauté pour vous transformer ». Grand d'effort, de gingard, chevron en bataille, couenne vert d'eau, « j'attends », Toshiyuki Inoko, le fondateur de TeamLab, nous guide à travers les 1200 mètres carrés d'expérience (comment appeler autrement cette exposition où tout bouge et se téléscopie dans une symphonie de lumières et de sons ?) : « Au-delà des limites ».

**Vous mettez la main sur le mur où passe un banc de poissons, il change de cap, et, au milieu, vous créez un vortex de couleur**

restez dans l'exposition, car instant est unique, vous ne le reverrez jamais », insiste-t-il en comparant ses œuvres à des haïkus : « Quelque chose de très fragile et d'instantané », dit-il est le premier fan aux yeux perdus sur le tableau en mouvement.

« Je sais qu'il y a des choses que je ne comprends pas, que je ne peux pas contrôler, et aussi des choses plus profondes que moi dans ce monde. Peut-être que, chez vous, on appelle cela Dieu, mais nous... » D'un sourire, il



5月27日 在仏日本人会「希望祭」

「チームラボ」展入場者  
 6. 0万人(5月15日～6月17日)